



エコ・ファーストの約束

～環境先進企業としての地球環境保全の取組～



2014年6月18日

環境大臣 石原 伸晃 殿

株式会社 滋賀銀行

取締役頭取

大道 良夫

株式会社滋賀銀行は、CSR憲章（経営理念）に掲げる「環境経営」が地球温暖化防止や生物多様性の保全をはじめとする、持続可能な社会の形成に貢献できるとの使命を認識し、金融機関ならではのCSR活動を展開しております。

環境等に配慮した「お金の流れ」により、お客さま・地域の皆さま・役職員とともに環境保全に努めることを目的に、以下の取組を進めてまいります。

1. 「環境金融」を通じたグリーン経済を積極的に推進します。

～“お金の流れで地球環境を守る”との気概で、環境対応型金融商品・サービスの提供を実践～

- ◆申込用紙を不要とする「エコプラス定期」およびネット投信の電子交付サービスを、2013年度から2015年度の3年間で50万件推進することで紙資源等の削減を図り、お客さまとともに省資源に努めます。
- ◆低炭素社会づくりや環境経営の金融サポートを実践する、環境対応型融資商品「エコ&耐震住宅ローン」、「エコ・クリーン資金」、「琵琶湖原則支援資金」、「カーボンニュートラルローン 未来よし」を積極的に推進し、低炭素社会の創出に努めます。
- ◆琵琶湖をはじめとする地球環境保全への願いを込めた、「しがぎん琵琶湖原則」への賛同を広く呼びかけ、お客さまの環境保全の取り組みを促進いたします。
- ◆「ビジネスフォーラム」、「エコビジネスマッチングフェア」を開催し、エコビジネスの種や芽を育て、お客さまの環境ビジネスを積極的にサポートいたします。

2. 「エコオフィスづくり」を積極的に推進します。

～省資源・省エネルギーによる「クリーンバンクしがぎん」の実践～

- ◆温室効果ガス削減のための利用可能な最先端技術の最大限の導入により、温室効果ガス排出量を、当行全体の総量で2013年度から2015年度の3年平均で2006年度比20%削減します。
- ◆本支店の空調・照明設備、受電設備、OA機器を随時更新し、オフィスの省エネ性能の向上を図ります。
- ◆店舗の新築・改築には3R品や、省エネ機器、太陽光発電設備の導入等により、環境に配慮した仕様にいたします。
- ◆行内の「リサイクルシステム」を活用し、紙資源を年間440tリサイクルします。
- ◆「エコメール」の活用により、紙資源・ビニール袋等の廃棄物の削減に努めます。

3. 生物多様性の保全活動により、人と自然が共生する社会づくりを推進します。

～地域の皆さまとともに、持続可能な社会を実現～

- ◆当行独自の評価指標「生物多様性格付 (PLB 格付BD)」を活用し、お客さまの生物多様性保全の普及・啓発に努めます。
- ◆「カーボンニュートラルローン 未来よし」の拠出金により、琵琶湖の固有種で絶滅危惧種の「ニゴロブナ・ワタカ」を放流し、琵琶湖の環境と生態系の保全に貢献します。
- ◆「エコプラス定期」等の拠出金により、子どもたちの環境学習の実践の場である「学校ビオトープ」づくりをサポートします。
- ◆役職員一人ひとりが地球市民として環境意識を持ち、地域に根ざした環境ボランティアを展開します。(2013年度から2015年度の間で参加延べ人数 7,500名)
- ◆森づくりサポート、ヨシ刈り、ヨシ苗植え、ビワマス遡上プロジェクト、外来魚駆除等、“いきものがたり”活動を通じて、ストーリー性をもった生態系保全に努めます。

株式会社滋賀銀行は、上記取り組みの進捗状況を確認し、環境省へ報告するとともに、「CSRレポート」による公表を行ってまいります。



滋賀銀行